5課

約束の子どもたち



安息日午後 4月24日

暗唱聖句

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイ 28:20、 新共同訳)

「見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。(マタイ 28: 20、口語訳)

今週の聖句

創世記 15:1~3、イザヤ 25:8、1 コリント 2:9、黙示録 22:1~5、

1ペトロ2:9、創世記11:4、創世記12:2

今週のテーマ

ある父親と10歳になる娘が、海辺で休暇を過ごしていました。泳いでいたとき、ふたりは岸から遠く離れてしまいました。引き潮のために沖に流されていることに気が付いた父親は、娘に声をかけました。「メリー、お父さんは助けを呼びに岸に戻るから、疲れたら仰向けになっていなさい。そうすれば一日でも浮いていられるから。お父さんはおまえを助けに戻って来るからね」

ボートに乗った捜索隊は、すぐに、海の上を1人の幼い少女を求めて探し回りました。4時間後――。少女は発見されました。陸から遠く離れていましたが、彼女はまったく怖がる様子もなく、仰向けに浮いていたのでした。捜索隊がかけがえのない命と共に岸に戻ったとき、喜びと安堵の喝采と涙が、彼らを迎えました。彼女は大人たちがなぜそんなに大騒ぎをするのか不思議でした。彼女は言いました。「パパは私に、仰向けになっていれば一日でも浮いていられるから、迎えにいくまでそうしていなさいって言ったの。だから私は、泳いだり浮いたりしていたの。パパは戻って来るってわかってたから」(H・M・S・リチャーズ『預言の声ニュース』「イエスがお戻りになるとき」1949年3月号5ページ、英文)。

今週のポイント

なぜ主はご自身を「アブラムの盾」であると言われたのでしょうか。「地上のすべての氏族」はどのようにしてアブラハムを通して祝福されるのでしょうか。すべての契約の中で最も大いなる契約は何でしょうか。

日曜日 4月25日 あなたの盾

「これらのことの後で、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ。『恐れるな、アブラムよ。わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きいであろう』」(創15:1)。

問1 創世記 15:1~3 を読んで、このみ言葉が与えられた文脈を考えてください。主はなぜ彼にまず「恐れるな」と言われたのでしょうか。ア ブラムは何を恐れる必要があったのでしょうか。

ここで特に興味深いのは、主がアブラムに「わたしはあなたの盾である」と言われていることです。人称代名詞〔あなたの〕は通常、個人的な関係を表すために用いられます。神は彼と一対一の関係を望まれましたが、私たちに対しても同じです。

神の名称として「盾」が用いられるのは、聖書においてここが最初です。聖書中、他の聖書の記述が神**について**この言葉を用いることはあっても(申33:29、詩18:31〔口語訳30節〕、84:10〔口語訳11節〕、144:2〕、神がご自身を表すためにお用いになったのは唯一ここだけです。

問2 神がご自身をだれかの盾であると呼ばれるとき、それは何を意味しますか。盾に守られることは、身体的にまったく害を受けなくなるということでしょうか。神はどのように盾になられるのでしょうか。あなたはこの〔盾という〕象徴をどのように理解しますか。

「キリストが私たちに対してお持ちになる関心は、ありふれたものではなく、母親がその子どもに対して持つそれよりも強いものです。……キリストは、あなたの安全を彼の保護のもとに置かれる。……私たちの人間的な弱さは私たちが天父のみもとに行くのを妨げない。キリストが、私たちのとりなしのために死なれたからである | (エレン・ホワイト『神の息子、娘たち』77ページ、英文)。

ある男性はだれが見ても忠実な主の僕でした。しかし突然、彼は不慮の死を遂げました。彼の盾である神はどこにおられたのでしょうか。それとも私たちは、私たちの盾である神を、何か別の角度から理解する必要があるのでしょうか。神は常に私たちをどんな試練から守ってくださると約束されていますか(1コリ10:13 参照)。

月曜日 4月26日 メシアの約束:パート1

「地上の氏族はすべて、あなたとあなたの子孫によって祝福に入る」(創28: 14)。

「あなたがたは、もしキリストのものだとするなら、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です」(ガラ3:29)。

主は一度ならず、アブラハムに、彼の家系、彼の子孫によって地上のすべての国民が祝福されると言われました(創12:3、18:18、22:18)。なぜなら、すべての約束の中で、この約束は最も重要なもの、最も永続するもの、他のすべての約束を価値あるものとする約束であるからです。これは主がその民を通して真の神とその救いのご計画について「地上のすべての氏族」に教えたいとお望みになった、ユダヤ民族の出現を意味する約束だったのです。さらに、この約束は、アブラハムの家系に生まれ、「地上のすべての氏族」の罪の代価を十字架においてお支払いになるお方であるイエス・キリストによってのみ完全に成就することを意味していました。

- 問3 洪水後に与えられた契約の約束は、イエスの内に見いだされる贖いの 約束なしに、最終的に良いものと言えるでしょうか。イエスの内に見 いだされる永遠の命の約束なしに、神のどんな約束が最終的に良いも のと言えるでしょうか。
- 問 4 アブラハムにあって、イエスを通して「地上のすべての氏族」が祝福 されるという考えをあなたはどのように理解しますか。それは何を意 味しますか。

世の救い主の契約の約束は、すべての神の約束の中で最も大いなる約束です。贖い主ご自身が、この契約の債務を支払うための**手段**となり、それによって他のすべての約束が実現するのでした。ユダヤ人であれ異邦人であれ、すべてキリストと結ばれる者は、アブラハムの真の氏族と見なされ、この約束を受け継ぐのです(ガラ3:8、9、27~29)。それは、不幸も、痛みも、苦しみも二度と送ることのない罪のない世界における永遠の命の約束なのです。

私たちを魅了する罪も苦しみもない世界での永遠の命の約束とはどんなものでしょうか。その約束は、私たちに創造された元の姿を慕い求めさせ、また、そうすることによって、私たちは人間の性質の根本となるものを求めることだと言えるでしょうか。

「真の幸福を味わうためには、われわれは遥か彼方の国まで旅をしなければな らない、そして私たち自身の外にまでも | ――トーマス・ブラウン

問 5 上の引用文は 1600 年代に書かれました。あなたはこの文に同意でき ますか、できませんか。1 テサロニケ 4:16~18 と黙示録 3:12 の文 脈から読んでください。

アウグスティヌスは、人間の状態を次のように書きました。「われわれのこの 人生は、――もしこんなにも多くの大いなる病に満ちた人生が、人生と呼ぶべ きものであるなら――その初めから、この死すべき人というのは、罪に定めら れているという事実の証拠である。われわれの愛するあらゆる物を見よ。それ はただむなしく、毒に満ち、そして多くの心痛、悩み、悲嘆、そして恐れを生 み出すものに過ぎない。かくのごとき不和、争い、そして闘い……の中の狂気 の喜びを見よ。かくのごとき搾取、盗み、そして強奪を見よ。かくのごとき背 信とうぬぼれ、ねたみと野望、過失による殺人と故意の殺人、残虐と残忍、無 法状態と肉欲を見よ。そしてその他数えきれないほどの不潔で語るに堪えない 汚らわしい行為を見よ。信心に対する罪、すなわち冒瀆と異端、不敬と偽誓を 見よ。隣人に対する不正、すなわち誹謗中傷や詐欺、嘘と偽りの証言、人とそ の財産に対する暴力、法廷における不法を見よ。そしてその他世界に満ちる数 えきれないほどの不幸と疾病を見よ。なお、逃れの道はあるのか」(アウグス ティヌス著/ジェラルド・G・ウォルシュ訳『神の都』22巻22章519ページ、英文)。

このアウグスティヌスの引用は今日、ほとんどの現代都市に当てはまるで しょう。しかし、彼はこれを1500年以上も前に書いたのです。人類の人間性は ほとんど変わらず、それゆえに人々はそこから逃れることを願うのです。

幸いなことに、現在の私たちの置かれた状態は厳しいものですが、未来は明 るいのです。なぜなら、イエス・キリストの生と死、よみがえり、そして大祭 司としての奉仕によって、すなわちアブラハムに与えられた契約の約束、その 子孫と、地上のすべての氏族を祝福する最終的な成就が実現するからです。

アウグスティヌスの引用文を読んで、あなた自身の言葉で現在の世界の悲しい 状況について書き表してみてください。同時に、聖書からイエス・キリストに あって神が私たちにお与えになった約束について語っている聖句をあげてみま しょう (たとえば、イザ 25:8、1 コリ 2:9、黙 22:2~5 など)。

水曜日 4月28日 大きな強い国民

神はアブラハムに、彼にあって地上のすべての氏族が祝福されると約束されただけでなく、主は彼を「大きな強い国民」にすると言われました(創18:18、12:2、46:3参照)。それは実に、とうに子どもを宿す年齢を過ぎた妻を持つ夫への約束だったのでした。こうして、アブラハムに子孫がいない前に、まして息子もいない前に、神はその両方を彼に約束されたのでした。

しかし、この約束は、アブラハムが生きている間に完全に成就することはありませんでした。イサクもヤコブもその実現を見ませんでした。神はヤコブに対して、その約束はエジプトにおいて成就するとの情報を加えて繰り返されました(創46:3)。ヤコブも実際はその成就を見ませんでしたが、もちろん最終的に、その約束は成就したのでした。

問 6 なぜ主はアブラハムの子孫から特別な民族を起こすことを望まれたのでしょうか。主はただ、ある人種的起源を持つもう一つの国家を望まれたに過ぎなかったのでしょうか。この民族が実現すべき目的とはなんだったのでしょうか。出エジプト記 19:5、6、イザヤ 60:1~3、申命記 4:6~8 を読んで、あなたの答えを書いてください。

神は、イスラエルが主の祝福によって幸福で、健康で、聖なる民となり、この世界の諸国民の心を主に向けさせることを意図されたことは、聖書が立証しているとおりです。そのような民族は、創造主のご意思に従うことによって、主の祝福を証明するのでした。地上の諸国民は真の神を礼拝するように導かれます(イザ56:7)。こうして、人類の注意はイスラエルへ、彼らの神へと引きつけられ、そして彼らのただ中に現れたメシア、世の救い主へと引き寄せられるのでした。

「イスラエルが神のご品性をあらわすことによって、人々が神に引きつけられることが神のみ旨であった。全世界に、福音の招きが与えられなければならなかった犠牲制度の教えを通して、キリストは諸国民の前に掲げられ、それを見あげる者はすべて生きることができるのであった」(『希望への光』1298ページ、『キリストの実物教訓』268ページ)。

主がイスラエルを通してなさりたいと願ったことと、私たちの教会を通してしたいと望まれることには共通点がありますか。もしそうであれば、それは何ですか。1ペトロ2:9を読んでください。

木曜日 4月29日 「あなたの名を高める」

「わたしはあなたを大いなる国民にし/あなたを祝福し、あなたの名を高める /祝福の源となるように | (創12:2)。

- 問7 創世記 12:2 で、神はアブラハムの名を高めると約束しています。それは、彼の名を有名にするということです。神はアブラハムを、彼の個人的利益のために高められたのでしょうか。それとも、それ以上の意味があったのでしょうか。
- 問8 創世記 11:4 を 12:2 と比較してください。両者の大きな違いは何で すか。どのように、一方は「行いによる義」を表し、他方は「信仰に よる義」を表していますか。

救いの計画は、私たちのためのキリストの行いのみをより所としています。それでもなお、私たちには神の恵みの受け手として、なすべき役割があります。私たちの自由意思がその鍵となります。各時代を通じて続いてきた神とサタンの間の闘いは、今もなお私たちの中に、そして私たちを通して続いています。人類と天使たちは共に、この争闘に巻き込まれた私たちに何が起きているのかを見守っています(1コリ4:9)。このように、私たちの存在と言動が、はるか遠く、私たちの生きる世界とはかけ離れた宇宙にまで影響を与え、この〔壮大な〕闘いの展開に大きく関わっているのです。私たちの言葉、行為、態度でさえ、私たちのためにこれほど多くのことをしてくださった主に栄光を帰す助けにもなり、主と御名の恥ともなるのです。ですから、主がアブラハムに、彼の名を高めると言われたとき、主は、世的な名声を言われたのではありません。神の目から見て人の名を高めるものとは、品性、信仰、服従、謙遜、そして他者への愛であり、これらの特性は、世の中で重んじられるものではありますが、通常、人の名声を高める要素とは考えられないものです。

俳優、政治家、芸術家、富裕層など、今日、世的に「名を高めた」人々を見てください。彼らを有名にしているものは何でしょうか。それらをアブラハムの名を高めた要素と比べるとき、世的な名声の基準がいかに歪められているかがわかります。同様に、世的な生き方が、どれほど私たちの名声の基準に影響を与えているでしょうか。

参考資料として、『人類のあけぼの』第12章「カナンにおけるアブラハム」 と第13章「信仰をためされたアブラハム」を読みましょう。

アブラムがカナンに入ったとき、主は彼に現れて、彼の子孫に与えられるその土地に寄留しなければならないことを確認されます(創12:7)。神はこの約束を何度も繰り返されます(創13:14、15、17、15:13、16、18、17:8、28:13、15、35:12)。それから400年後、この約束の成就の中で(創<math>15:13、16)、主はモーセに、イスラエルをエジプトから連れ出し、乳と蜜の流れる土地に導き入れると告げられます(出3:8、17、6:8)。神はこの約束をヨシュアにも繰り返されます(ヨシュ1:3)。そしてこの約束はダビデの時代に、完全にではないまでも、広く成就しました(創 $15:18\sim21$ 、サム下 $8:1\sim14$ 、王上5:1 [口語訳4:21]、代上 $19:1\sim19$)。

へブライ11:9、10、13~16を読んでください。これらの聖句から、アブラハムとその他の信仰の父祖たちが、カナンを、来るべき、神の贖われた民が最終的に住む地の象徴、または予表するものと考えていたことは明らかです。罪の世にあっては永続する家は望みえません。命ははかなく、「わずかの間現れて、やがて消えて行く霧にすぎません」(ヤコ4:14)。アブラハムの霊的な子孫として私たちも、「わたしたちはこの地上に永続する都を持っておらず、来るべき都を探し求めている」ことを覚えなければなりません(ヘブ13:14)。キリストと共に生きる未来の命の確かさが、今この世の変化と衰退の中にあって、私たちを揺るがないものとしてくれるのです。

話し合いのための質問

- 神の新しい地の約束は、個人的なクリスチャン経験にどのように助けになるでしょうか(マタ5:5、2 コリ4:17、18、黙21:9、10、22:17)。
- ②「真の偉大さとは、神の戒めの遵守と、神の神聖な目的への協力の結果である」(『SDA 聖書注解』第1巻 293 ページ、英文)。この言葉の意味について話し合いましょう。

まとめ

約束! それは信じる者にとってなんと尊いものでしょうか。約束、それは成就するのでしょうか。信仰は、「はい」と信仰によって答えることができるのです。

神と科学、どちらを信頼するか

医師は画面を見せ、ヘルナンドとエリカに、「これが証拠です。赤ちゃんは諦めましょう」と言いました。画面は、彼らの赤ちゃんがポッター症候群であることを示していました。ヘルナンドは、クリスチャンとして何ができるか考えました。赤ちゃんは、このままでは生きることができないでしょう。しかし、まだ希望があるかもしれません。神と科学、どちらを信頼すべきでしょうか。

ヘルナンドは「神が最終的な決定をなさる」と言いました。医師は、母親エリカの命を救うために帝王切開を勧めました。2人は祈りました。彼らの教会も祈りました。しかし、帝王切開の2日前になっても、赤ちゃんに変化はありませんでした。

その晩、エリカは夢を見ました。彼女は、ベビーベッドの中で遊ぶ男の子の赤ちゃんを見て、こう告げる声を聞きました。「あなたの息子を取りなさい。神からの賜物です。サムエル・デイビッドと名付けなさい。神のみ言葉に従って育てなさい」。エリカとヘルナンドは、その夢は、赤ちゃんが助かるしるしだと思いました。 2人は初めて、赤ちゃん用品を買いました。

しかし、次の日、彼らは最悪の事態に備えなければなりませんでした。医師が、「帝王切開を行えば、数分で赤ちゃんは死ぬだろう」と言うのです。ヘルナンドは、待合室で30分、40分、50分と待ちました。60分たったとき、突然叫び声が聞こえてきました。それは、医師と看護師が驚いて叫んでいる声でした。医師たちは、奇形の赤ちゃんが生まれると思っていましたが、完璧な赤ちゃんが生まれたのです。「ありえないことだ!」と医師は叫びました。「これは奇跡だ!」

2人は、サムエルを神のみ言葉に従って育てると決心し、この奇蹟を多くの人々に伝えています。その後、彼らはセブンスデー・アドベンチスト教会を知り、教会員になりました。現在、ヘルナンドはアドベンチストの病院で働いています。サムエルは、健康な8歳の少年になりました。

ヘルナンドは、「私たちは、すべての人が反対しても、神を信頼する決心をしま



した」と言います。「神の方法は、私たちの方法ではありません。 そして、神のお考えは、私たちの考えではありません。サムエ ルの物語を聞いて、多くの人々がイエスの元に来たのです!